

公表:令和2年3月30日

事業所名

とらい

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・ 体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○			広さが90㎡以上あり、解放された空間と個別学習機がある。
	②	職員の配置数は適切であるか	○			配置基準を満たしている。
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	○			バリアフリー化している。
業務改善	④	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	○			支援会議などを行い、目標を常に共有している。
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○			実施し、課題を共有している。
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○			ホームページにて公開している。
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか			○	
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○			外部研修を含め、提携事業所と年に数回行っている。
適切な支援の提供	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			半年ごとに支援計画を見直し、保護者と面談などを行っている。
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○			アセスメントツールを利用している。
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			職員で意見交換を行い、活動内容を決めている。
	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○			年間行事を立て、月ごとに季節に合わせた活動や、レクリエーションを行っている。
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	○			長期休暇は、個々の希望に沿い個別支援や集団活動での見学や野外活動、イベントの参加などに取り組む。
	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			個別での課題や、集団活動の両方を組み合わせた計画を立て、職員で共有している。
	⑮	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○			ミーティング時に、支援・活動内容を確認している。

	⑯	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○			支援経過記録表の記入、ミーティング時に支援方法を確認・共有をしている。
	⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○			記録方法を徹底し、支援会議時に役立っている。
	⑱	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○			半年ごとに計画を見直し、職員で話し合い変更点があれば共有している。
	⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ、支援を行っているか	○			施設内外の活動のバランスに配慮し、社会性を育てることを、大きな共通課題としている。
関係機関や保護者との連携	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○			管理者・児童発達管理責任者・指導員で参加している。
	㉑	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	○			担任などに常に連携を働きかけ、情報の共有や連絡調整に努めている。
	㉒	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	○			医療連携室の担当者・医師と児童のことについて相談できる関係ができています。
	㉓	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	○			登別市児童発達支援センターなどと連携を取り合っている。
	㉔	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	○			依頼があった場合、保護者の同意を得て情報共有をしている。
	㉕	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○			登別市児童発達支援センター及び関連機関と連携し、研修に参加している。
	㉖	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	○			地域の行事や、イベントに積極的に参加し、交流・活動をしている。
	㉗	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか			○	今後機会があれば行いたい。
	㉘	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○			送迎時や連絡ノートなどで日ごろの子供の様子を伝えている。
	㉙	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	○			子供の様子を共有する中で、相談などを受けるよう心掛け、必要時には面談も行っている。

保護者への説明責任等	③⑩	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○			主に契約時に説明し、理解してもらっている。
	③⑪	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○			送迎時や電話で話を聞いたり、連絡ノートなどで悩みを聞き助言をしている。
	③⑫	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか			○	今後は保護者が参加できる取り組みを 行いたい。
	③⑬	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○			重要事項説明書に苦情の受付について記載しており、発生した時には迅速に 対応している。
	③⑭	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか			○	行事予定等は発信している。
	③⑮	個人情報に十分注意しているか	○			雇用契約時に、必ず個人情報守秘義務契約を結び、注意している。
	③⑯	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○			必要に応じ、絵カードや文字ジェスチャーなどで情報を伝達している。
	③⑰	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	○			町内会に加入し、文化祭などの行事に 招待するなどしている。
非常時等の対応	③⑱	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	○			策定している。保護者には緊急連絡先を聞き、迅速な 対応準備もしている。
	③⑲	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○			年に1回実施している。
	④①	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○			虐待防止委員会を設置し、職員研修や 虐待防止資料の閲覧をしている。
	④②	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し理解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	○			現在必要な児童の通所はないが、 身体拘束を行わないという考えのもと 行っている。
	④③	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	○			保護者を介して指示書をもらい、対応している。
	④④	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○			ヒヤリハット報告書を作成して全職員で 共有している。

◎ この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。